

第497回例会8月6日(火)AM7:30~8:30オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

- 司会:中野雄介、池田龍郎 ■点鐘:松本好司
- ロータリーソング:希望のエネルギー
- ゲスト:みやこだ自然学校代表 加藤正裕様
- ビジター 浜松中 RC 木村嘉代子様
- 議事 加藤正弘様卓話「みやこだ自然学校の紹介」

出席報告

本日出席率
65/79名
82.28%
前々回出席率
96.15%



米山奨学生 蔡道さん

会長挨拶

本日は8月第一例会です。お手元にロータリーの友が届いていると思います。前回のロータリーの友ではロン・バートン RI 会長はポリオ撲滅活動について、真のロータリアンという事について問題提起されていました。



今月のロータリーの友では「ロータリーを実践し将来につなげる」というテーマで、「ロータリーを育てる」「与え、そして得る」をメッセージとしております。私の1年間のテーマとして「ロータリアンとしての場をつくる」を挙げています。特に将来につなげるという意味では、企業活動と一緒に現状認識を課題化し、その課題に対して全体の活動、動きを知った上で次の行動を考える。ロータリークラブも同じで、クラブ全体の動きに対して次の行動を考えて活動して頂きたいと思っております。

今月のロータリーの友からのメッセージを1つ1つ受け止めて、場づくりを皆さんと共に作り上げていきたいです。同じ意思を持つ事が大切で情報交換を密に行い、パワー浜松 RC を良いクラブにしていきたいと思っております。

この後は、未来夢計画につながる卓話がございます。みやこだ自然学校 代表加藤様、宜しくお願い致します。

委員会報告

社会奉仕委員会

中国地方集中豪雨の被災者に対する義援金の募集箱を回します。志を入れてください。

スマイル報告

松本好司・諸星圭吾

みやこだ自然学校、代表 加藤正裕様、本日は早朝よりお越しいただき誠にありがとうございました。

子供達の未来について加藤様の取り組む活動について大変共感致しました。又、未来の夢計画では、当クラブの支援事業となっていますのでよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

高貝亮

加藤様、本日は卓話を頂きありがとうございました。いつも子供達に楽しい遊びの場を作って頂きありがとうございます。これからも宜しくお願いします。

財団プログラム部会

みやこだ自然学校の加藤正裕様、本日は卓話を頂きありがとうございました。都田の自然の中で子供達が遊ぶ姿は、何かホッとします。この様な場が、日本中にいっぱいできるといいですね。

幹事報告

① 配布物について、レターケースにロータリーの友・ガバナー月信を配布致しました。ご確認下さい。

② 第1回理事会承認事項よりご連絡です。RI出席規定変更に伴い出席免除会員としてジョーさん・熊谷さんが体調不良を理由として承認されましたのでご報告いたします。

③ 次週8月13日(火)は夏季休暇の為、休会となっておりますので、お間違いの無いようお願い致します。事務局の夏季休暇は13(火)~15(木)です。

④ 次回、8月20日の第498回例会は夜例会です。国際奉仕PJ担当で元パワー浜松RCの菅野様をお招きしミャンマーの現状について卓話を頂きます。ご出席お願い致します。出席確認のメ切りが本日となっております。ご連絡がまだの方は出欠確認をお願い致します。

その他報告

8月20日(火)夜間例会後の懇親会

菅野学享様による卓話『ミャンマーの現状』(国際奉仕委員会)終了後、菅野様を交えての懇親会を開催。

8月5日(月)静岡中央ロータリークラブにて原田道子アシスタントガバナーが卓話。バナーを松本会長に進呈。



第497回例会 8月6日(火)卓話 『みやこだ自然学校の紹介』

卓話者 みやこだ自然学校代表 加藤正裕様

●本能について

今日のキーワードは本能です。「シートン動物記」には、本能は生存するためのもので、判断力の基準としてや、集団で狩りをするときの協働の感覚を「本能」として持っているといわれます。これを聞いて思い出したのは、サッカーの本田選手の言葉です。ゴールを決める時、こういう風に自分が走ると、あいつがこう動いて、ゴールを決められるとわかる瞬間がある。ほかの選手も同時にその感覚を持つ。そのとき上からの視点で自分を客観的に見ているという話です。

●子供の遊びの変化

今、60代の方は神社や原っぱなど、圧倒的に外で遊んだものです。世界各国で遊び場の面積を比較してみると、日本はかなり少ない。公園や緑はいっぱいありますが、子供が遊べるオープンスペースが少ない。ドラえもんには、大きな下水道の管が置かれている広場が出てきますが、そういう光景は今はありません。子供のいるお母さんに「どこで遊ばせていますか」と聞くと「公園」という答えが多い。「森の中に連れて行きたいけど森がない」と言います。

また同い年の子同士で遊ぶことが多い。だから年齢が上の子から怒られたり、下の子をかばったりという人間関係がない。高度成長が始まった頃、子供は屋外でいろいろな遊びをしていました。それが今は画一的な遊びをして同じような年齢の子としか遊んでいない。これが現状です。

今の社会は、簡単、便利、快適、快樂。「楽しんで、もうけたい」と子供が最近よく言います。「疲れた」というのもよく聞きます。簡単、便利、快適、快樂は、大人たちがつくってきたサービスの成果です。企業活動なので当然ですが、小さい時からこれでいいのか。

みやこだ自然学校の子供たちはよく働きます。子供たちでもやれることはたくさんある。汗を流さなければいけないことや、いやなこともある。ブランコに乗るのに順番があるから、我慢することを覚える。3歳の子供でも我慢ができます。

夢中になって遊ぶのは子供の本能です。夢中になって



遊ぶ大人もかっこいいと思います。シートン動物記に母親が死んで猫に育てられた小リスの話が出てきます。生き残るのに必要だったのは、丈夫な体、何でも楽しむ心、たくさんの強い本能だったと言います。

●シートンの教育の主張

人は森の中で、自然の中で、本能を適切に引き出し、強く、たくましく、賢く成長できます。「シートン動物記」を単なる動物記として読まず、人間がどうして人間になってきたかが書かれている本として読めば面白い。それは子供たちだけでなく、青年にも親たちにも高齢者にも障がい者にも有用です。

●「熱気球を飛ばす」

熱気球を飛ばすような、わかりやすい取り組みをきっかけにして、様々な世代が交流し、地域の未来作りに手を合わせ、人にとって必要な場作りをしたいと考えています。私有地である里山でやりたいと思っています。里山は人が人らしく育つ教育の場。単なるリクレーションではなく教育の場になります。

●50代は森づくり

30代のとき、子供たちのために何が残せるか考えました。60才まで生きると仮定して、残りの30年間、何をしようかと目的を決めてやってきました。50代(現在)は、森づくりに関わってやろうと思っています。天竜の森。工業用水がだめになるというので、そういう取り組みをしようと思っています。ありがとうございました。